

## 指定管理者評価シート

事業名	ジャンプ競技場等運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	---------------	-----------	-------------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1274番地外
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目外
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山ジャンツェ	所在地	中央区宮の森902番地外
開設時期	平成15年11月(全面改修)	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディアムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森1274番地外
開設時期	平成11年12月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与することを目的とする		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		
2 指定管理者			
名称	株式会社 札幌振興公社		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:4 複数施設を一括指定の場合、その理由:ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。		
業務の範囲	<b>【ジャンプ競技場】</b> (1)施設の維持及び管理 (2)施設を使用に供すること (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業 (4)使用承認等に関すること (5)大型映像車の運行に関すること (6)上記各業務に付随する業務 <b>【ミュージアム】</b> (1)施設の維持及び管理 (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施 (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し (4)使用承認等に関すること (5)上記各業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数:4 複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																	
1 業務の要求水準達成度																				
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年間の指定管理者としての経験を生かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。</p>	<p>管理方針に基づき、ジャンプ競技への関心及び競技力の向上やウィンタースポーツの普及と振興に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。環境配慮についても継続して取り組んでおり、評価できる。</p>	A	B	C	D													
	A			B	C	D														
	<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。</p>																			
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでいる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量の削減</td> <td>1,197,283</td> <td>1,175,400</td> <td>102%</td> </tr> <tr> <td>水使用量の削減</td> <td>14,870</td> <td>15,574</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>ガソリン・軽油使用量の削減</td> <td>3,967</td> <td>4,308</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>事務用紙使用量の削減</td> <td>112,860</td> <td>102,500</td> <td>110%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	実績値	削減率	電気使用量の削減	1,197,283	1,175,400	102%	水使用量の削減	14,870	15,574	95%	ガソリン・軽油使用量の削減	3,967	4,308	92%	事務用紙使用量の削減	112,860	102,500	110%
項目	目標値	実績値	削減率																	
電気使用量の削減	1,197,283	1,175,400	102%																	
水使用量の削減	14,870	15,574	95%																	
ガソリン・軽油使用量の削減	3,967	4,308	92%																	
事務用紙使用量の削減	112,860	102,500	110%																	
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>統括責任者を事業課長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。教育・研修計画に基づき研修等を実施した。AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。</p>	<p>各職員が環境への配慮を意識して取り組んだ。ガソリン・軽油使用料については、5年に1度実施している予備発電機の燃料入替を行った為、他の項目と比べ目標を下回ってしまったが、事務所用紙使用料や電気使用料については、目標を超える実績となった。今後も目標達成に向け継続して削減に努めていきたい。</p>	<p>計画に沿った組織体制を整え、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な職員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。</p>	<p>職員配置についても計画書に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めていると言える。</p>																	
	<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>職場ミーティングを適宜行い、業務の問題点や改善・サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。</p>	<p>今後も社員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題改善に努めていきたい。</p>																		
	<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づき適正かつ確実に業務が遂行された。</p>	<p>業務計画に沿って適正な再委託を行った。</p>																		
	<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/22</td> <td>荒井山ジャンプ利用者連絡協議会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">&lt;協議会メンバー&gt;</td> </tr> <tr> <td colspan="2">札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者</td> </tr> <tr> <td>8/4</td> <td>第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>11/15</td> <td>第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>1/11</td> <td>第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	協議・報告内容	4/22	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会	<協議会メンバー>		札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者		8/4	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等について)	11/15	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等について)	1/11	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況等について)	<p>協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取り組んだ。次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。</p>	<p>また、札幌市や関係団体との協議についても定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であり、適切に対応を行っている。</p>			
開催日	協議・報告内容																			
4/22	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会																			
<協議会メンバー>																				
札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者																				
8/4	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等について)																			
11/15	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等について)																			
1/11	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況等について)																			

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="443 147 598 246">3/27</td> <td data-bbox="598 147 1002 246">第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等 について)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="443 246 1002 324">           &lt;協議会メンバー&gt;            札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者         </td> </tr> </table>	3/27	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等 について)	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者							
3/27	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等 について)										
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者											
	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>指定管理と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。 現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>アンケートの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。 ジャンプ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。</p>	<p>適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めた。</p> <p>お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映した。</p> <p>過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。</p>	<p>要望等については、来場者のアンケートのみならず、連絡調整会議等の機会において競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っていると言える。</p>								
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。</p>	<p>適切な労務管理に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1197 896 1276 929">A</td> <td data-bbox="1276 896 1356 929">B</td> <td data-bbox="1356 896 1436 929">C</td> <td data-bbox="1436 896 1516 929">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1197 929 1516 1153">           法令を遵守し、雇用環境の維持航行上に努めていると評価できる。         </td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、雇用環境の維持航行上に努めていると評価できる。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、雇用環境の維持航行上に努めていると評価できる。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)にAEDを設置している。 平成17年6月に「個人情報の保護に関する方針」を定め、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事務部内に掲示し緊急時に備えた。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行した。 また、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託した。</p>	<p>計画に沿った管理運営の中で、個人情報保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も慎重かつ安心・安全な施設運営を構築していきたい。</p> <p>業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。次年度以降も継続して関係各所と連携の下業務を遂行していきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1197 1153 1276 1187">A</td> <td data-bbox="1276 1153 1356 1187">B</td> <td data-bbox="1356 1153 1436 1187">C</td> <td data-bbox="1436 1153 1516 1187">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1197 1187 1516 1897">           計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。         </td> </tr> </table>	A	B	C	D	計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。			
A	B	C	D								
計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。											

	<p>▽ 防災</p> <p>防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した。(7月・2月)災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した。(4月)</p>	<p>今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。</p>																																																																																																					
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ ウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務</p> <p>①自主研修の場の提供(397校来場)  ②教育普及活動(特別展示2回、イベント8回)  ③常設展示  リニューアルに伴い、2階展示コーナーの展示内容・レイアウト等、大幅な変更を行った。  ④校外学習(小学校7校、中学校9校、大学1校で実施)  ⑤収蔵品データベース化  (展示物・収蔵品の調査データを146件追加登録。現在13,877件を登録)  ⑥収蔵品の収集・調査・研究・展示  ・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示  ・研究報告書・第6号発行  ・札幌ウィンタースポーツミュージアムタイムスの発行(2回)</p>	<p>概ね業務計画に沿って実施した。ミュージアムについては、10月からリニューアル工事に伴う休館があり、2月にオリンピックミュージアムとしてリニューアルオープンした。このリニューアル工事に伴い、実習の受入が出来なかったが、今後は更に注目が増すと思われるので、校外学習や自主研修等の受入を積極的に行っていきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4">札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝え、ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝え、ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。																																																																																															
A	B	C	D																																																																																																				
札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝え、ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。																																																																																																							
	<p>▽ その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のイベントの実施やサービスに努めた。  また、イベント・会議・展示会場として、競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP等への掲載等を行った他、地域町内会等へも周知し利用促進に努めた。  文科省より受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業(NTC)では、NTC施設として競技団体の要望を取り入れ環境の整備に努めた。</p>	<p>ジャンプ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めた。  NTC事業においても関係団体と連携を図り、トレーニング環境、情報医学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行していきたい。</p>	<p>個別の利用者や競技団体のトレーニング環境としての受け入れに加え、NTC事業についても、競技団体と連携を取りながら、ジャンプ競技場の拠点施設として取り組みを継続している。</p>																																																																																																				
(5)施設利用に関する業務	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>大倉山ジャンプ競技場</b></td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>1,209</td> <td>1,200</td> <td>935</td> </tr> <tr> <td>競技利用回数</td> <td>66</td> <td>40</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>大会・公式</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他催物</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>本部棟会議室</td> <td>47</td> <td>20</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>テレビ中継装置</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>433,964</td> <td>427,000</td> <td>421,371</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><b>宮の森ジャンプ競技場</b></td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>2,953</td> <td>3,000</td> <td>2,718</td> </tr> <tr> <td>競技利用回数</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>大会・公式</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>32,338</td> <td>30,000</td> <td>29,571</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><b>荒井山ジャンプ</b></td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>2,742</td> <td>2,800</td> <td>2,881</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><b>オリンピックミュージアム</b></td> </tr> <tr> <td>有料観覧者</td> <td>77,201</td> <td>53,700</td> <td>50,228</td> </tr> <tr> <td>無料観覧者</td> <td>36,177</td> <td>30,300</td> <td>32,397</td> </tr> <tr> <td>観覧者合計</td> <td>113,378</td> <td>84,000</td> <td>82,625</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><b>大型映像車</b></td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H27実績	H28計画	H28決算	<b>大倉山ジャンプ競技場</b>				競技利用者	1,209	1,200	935	競技利用回数	66	40	61	大会・公式	19	14	24	その他催物	5	5	9	本部棟会議室	47	20	35	テレビ中継装置	7	10	8	来場者	433,964	427,000	421,371	<b>宮の森ジャンプ競技場</b>				競技利用者	2,953	3,000	2,718	競技利用回数	118	120	128	大会・公式	16	12	14	来場者	32,338	30,000	29,571	<b>荒井山ジャンプ</b>				競技利用者	2,742	2,800	2,881	<b>オリンピックミュージアム</b>				有料観覧者	77,201	53,700	50,228	無料観覧者	36,177	30,300	32,397	観覧者合計	113,378	84,000	82,625	多目的ホール	7	2	7	<b>大型映像車</b>				利用回数	35	32	34	<p>オリンピックイヤー1年前である今年度は、ジャンプ練習の無料開放やナイター練習等可能な限りジャンプ台の使用に対応できる体制を敷いた。残念ながら天候の影響や選手のコンディション等により、練習がキャンセルになることが多く、競技利用者数は昨年実績及び今年度計画に達することは出来なかったが、競技団体等からは、先述の対応や体制について高い評価を受けた。  ミュージアムについては、リニューアル工事の為、10月から約4カ月半休館したことに伴い、昨年に比べ年間の利用者数は減少したが、2/21のリニューアルオープン以降の来館者数は前年を上回る実績であった。  また、来場促進を図るべく旅行会社へのセールスを行い誘致誘客に努めた  ※ ホームページや</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4">競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。  また、ミュージアムについては、リニューアル後には積極的な広報活動を実施し、来場者の促進を行っており、来場者の増加に繋がったと評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。 また、ミュージアムについては、リニューアル後には積極的な広報活動を実施し、来場者の促進を行っており、来場者の増加に繋がったと評価できる。			
区分	H27実績	H28計画	H28決算																																																																																																				
<b>大倉山ジャンプ競技場</b>																																																																																																							
競技利用者	1,209	1,200	935																																																																																																				
競技利用回数	66	40	61																																																																																																				
大会・公式	19	14	24																																																																																																				
その他催物	5	5	9																																																																																																				
本部棟会議室	47	20	35																																																																																																				
テレビ中継装置	7	10	8																																																																																																				
来場者	433,964	427,000	421,371																																																																																																				
<b>宮の森ジャンプ競技場</b>																																																																																																							
競技利用者	2,953	3,000	2,718																																																																																																				
競技利用回数	118	120	128																																																																																																				
大会・公式	16	12	14																																																																																																				
来場者	32,338	30,000	29,571																																																																																																				
<b>荒井山ジャンプ</b>																																																																																																							
競技利用者	2,742	2,800	2,881																																																																																																				
<b>オリンピックミュージアム</b>																																																																																																							
有料観覧者	77,201	53,700	50,228																																																																																																				
無料観覧者	36,177	30,300	32,397																																																																																																				
観覧者合計	113,378	84,000	82,625																																																																																																				
多目的ホール	7	2	7																																																																																																				
<b>大型映像車</b>																																																																																																							
利用回数	35	32	34																																																																																																				
A	B	C	D																																																																																																				
競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。 また、ミュージアムについては、リニューアル後には積極的な広報活動を実施し、来場者の促進を行っており、来場者の増加に繋がったと評価できる。																																																																																																							

	<p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免98件、還付0件 施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。 また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。</p>	<p>SNSを利用しジャンプに関する情報や競技場での開催イベントの情報発信を行い、ジャンプ競技の観覧者促進及び競技場の来場者促進に努めた。</p>									
	<p>▽ 利用促進の取組 イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。 自主事業の中で7月～10月の毎週金・土・日曜日はジャンプ練習でのジャンプ台使用料を無料とし、競技利用者(選手)のトレーニング促進に努めた。</p>	<p>HPやSNS上にタイムリーな情報を掲載することができた。 引き続きホテルや周辺町内会に協力を仰ぎ広報業務に努めていきたい。</p>									
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務 当社HPにイベント情報やジャンプに関する情報の掲載の他、H27年度より開設したSNS(フェイスブック)を使用し情報発信の幅を広げた。 市内観光施設・ホテル等へのパンフレット設置、ポスターの掲示を依頼したり、イベント時には大倉周辺町内会や店舗にチラシの配布等を行い、施設PRと利用促進に努めました。 HP上では、問い合わせ専用のメールアドレスを使用し、利用者からの問い合わせ等に対応した。</p>	<p>HPやSNS上にタイムリーな情報を掲載することができた。 引き続きホテルや周辺町内会に協力を仰ぎ広報業務に努めていきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいる。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいる。</p>			
A	B	C	D								
<p>ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいる。</p>											
	<p>▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。</p>	<p>引き継ぎ業務はなし。</p>									
2 自主事業その他											
	<p>▽ 自主事業 ジャンプ競技場、ミュージアムの活用 ○山頂展望台スタート地点の開放 普段は入場することのできないジャンプ台のスタート地点を一般開放し、ジャンプ台の迫力と眺望体験を実施した。(GW期間実施) 見学者 延べ9,044名 ○ミュージアム無料開放 2017冬季アジア札幌大会開催200日前記念イベント開催時(8/7)、及びミュージアムリニューアルに伴う閉館時の一部期間(10/8～10/10)、ミュージアムリニューアルオープン記念としてオープン日(2/21)～2月末迄の期間、ミュージアムの無料開放を行った。 参加者数 延べ6,250名 ○サマースポーツフェスタin大倉山の実施 冬の「大倉山メインイベント」であるウィンターフェスタ同様、夏のメインイベントとしてサマーフェスタを中央区と合同で開催した。 来場者 3,836名 参加者数 延べ1,154名 ○SAPPORO CITY JAZZ 協賛ライブ 大倉山に植栽しているラベンダー開花に併せて「PARK JAZZ LIVE in 大倉山ラベンダーステージ」と題して競技場内ラベンダー植栽地でのジャズライブを開催し、施設の魅力発信に努めた。また、秋には「オータムJAZZ」と題してジャンプ台をバックに市内小中学生のジュニアバンドによるジャズライブを開催した。 ○「カウントダウンイベント 2016-2017」の実施 2016年の締めくくりとして、2014年より実施し好評であったカウントダウンイベントを、JT北海と共催した。昨年度に引き続きイベント向けに開催した。 参加者数 401名</p>	<p>平成20年度より実施しているウィンタースポーツフェスタin大倉山をはじめ、サマースポーツフェスタin大倉山やサッポロシティジャズ協賛ライブ等の大型イベントの他、山頂展望台スタート地点の開放やリニューアルに伴うミュージアム無料開放等も実施し、大倉山の魅力を発信や施設のPRに努めた。 今後も1年を通してイベント、展示会等の実施・PR活動を継続して行い利用増を図り、また更なる経費削減にも努め安定した運営を目指す。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>昨年度好評であった山頂展望台ツアーやカウントダウン等のイベントを引き続き実施するとともに、夏のイベントとしてサマーフェスタを開催するなど、1年を通じた施設の魅力をアピールに努めたものと評価できる。 また、ミュージアムのリニューアルとアジア大会に合わせて無料開放を実施し、ジャンプ大会の観戦者の集客にも協力した。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>昨年度好評であった山頂展望台ツアーやカウントダウン等のイベントを引き続き実施するとともに、夏のイベントとしてサマーフェスタを開催するなど、1年を通じた施設の魅力をアピールに努めたものと評価できる。 また、ミュージアムのリニューアルとアジア大会に合わせて無料開放を実施し、ジャンプ大会の観戦者の集客にも協力した。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p>			
A	B	C	D								
<p>昨年度好評であった山頂展望台ツアーやカウントダウン等のイベントを引き続き実施するとともに、夏のイベントとしてサマーフェスタを開催するなど、1年を通じた施設の魅力をアピールに努めたものと評価できる。 また、ミュージアムのリニューアルとアジア大会に合わせて無料開放を実施し、ジャンプ大会の観戦者の集客にも協力した。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p>											

<p>○「ウィンタースポーツフェスタin大倉山」の実施 さっぽろ雪まつり開催にあわせ市民及び観光客へジャンプ台を活用した様々な体験を通して「冬の北海道」の楽しみ方とウィンタースポーツへの関心と普及に努め、さらに地域振興や大倉山施設の周知と情報発信を目的とし札幌市中央区と共催した。ウィンタースポーツ各種の体験などを、北翔大学・札幌聖心女子学院高等学校・町内会などボランティアの協力を得て実施した。</p> <p>来場者 1,758名 参加者数 延べ3,661名</p> <p>○「ストライダーエンジョイカップ」の開催 幼児向けランニングバイクに専用のスキーを装着させた「スノースライダー」の競技会をウィンタースポーツの振興、札幌の冬の魅力作りに繋げる為、昨年度に引き続き大倉山で開催した。</p> <p>来場者 1,826名 参加者数 192名</p>		
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用し、一部印刷物においては、福祉関連業者へ発注した。 また、警備係員として障がい者1名を雇用している。</p>	<p>特殊性等を考慮し、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。</p>	

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のニーズの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。	A B C D
実施方法	実施時期は4月～3月で展望ラウンジ内とミュージアム1階、2階にアンケート用紙を置き利用者に任意で記入したものを回収。 回答者数：展望ラウンジ 226名 ミュージアム内194名		
結果概要	<p>[年齢] 10代(10歳未満含む):212名、20～30代:62名、40～50代:90名、60代以上:54名、不明・無記入:2名</p> <p>[来場回数] 初めて:304名、2回:60名、3～5回:25名、6回以上:2名、不明・無記入:20名</p> <p>[地域] 市内:109名、道内:83名、道外:197名、海外:15名、不明・無記入:14名</p> <p>[接客] 大変良い:413名、良い:276名、ふつう:246名、やや悪い:16名、悪い:18名 接客満足度95%—項目[接客]より算出 [(大変良い413+良い276)÷(全体969-ふつう246)]=0.952]</p> <p>[施設を知ったきっかけ] テレビ・ラジオ等:27名、新聞・観光誌:106名 紹介:133名、インターネット:47名、旅行会社:37名、その他147名</p> <p>[次回の来場] 是非利用したい:210名、機会があれば:170名 利用しない:16名、不明:24名</p> <p>[総合満足度]大満足:141名、満足:70名、ふつう:46名 やや不満:13名、不満:6名 総合満足度92% [(大満足141+満足70)÷(全体276-ふつう46)]=0.917]</p>		<p>昨年度の課題であった接客について、満足度が改善していることから評価できる。一方で、接客が悪いという回答が昨年度に引き続き一定数見られることから、結果や意見を真摯に受け止め今後の改善に活かしていただきたい。</p>
利用者からの意見・要望とその対応	<p>[要望]ミュージアムでは英語の情報・説明が必要。</p> <p>[対応]リニューアルにて、展示内容を翻訳したシートを各所に設置した他、スマートフォンを利用した音声解説機能も追加した。</p> <p>[意見]ジャンプ・ホブスレーでは、風が出るようにするとリアルな感じが出て良いと思う。</p> <p>[対応]リニューアルにて、ホブスレーにお客様に向かって風が吹く機能を追加した。</p> <p>[その他意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GW期間の特別開放が良かった、迫力満点</li> <li>・上(展望台)で食事がしたい。</li> <li>・子供も楽しめるゲーム等があり、とても良かった。</li> <li>・展示だけではなく、スポーツ体験が出来るのが良かった。</li> </ul>		

4 収支状況

▽ 収支 (千円・税込)			
項目	H28計画	H28決算	差
収入	229,778	247,928	18,150
指定管理業務収入	229,328	247,293	17,965
指定管理費	182,328	190,185	7,857
利用料金	47,000	45,199	▲ 1,801
その他	0	11,909	11,909
自主事業収入	450	635	185
支出	229,707	242,495	12,788
指定管理業務支出	227,503	231,463	3,960
自主事業支出	2,204	11,032	8,828
収入-支出	71	5,433	5,362
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	71	5,433	5,362

▽ 説明

・収入のうち、ミュージアム入館料及び競技場施設使用料の利用料金収入は、ミュージアムのリニューアル工事に伴う休館等により減収となったものの、トータルとしては計画を上回る決算となった。なお、決算においてNTC業務受託に係る収入をその他に計上している。  
 ・支出については、昨年に引き続き経費削減に努めたが、自主事業によるイベントを多数実施したことや、ランディングバーンの防護板嵩上げ工事の寄付を行った結果、計画と比べ12,788千円増の支出となった。  
 ・純利益としては、NTC業務受託を含め5,433千円(税込)の決算額となった。

平成28年度の決算については、自主事業(イベント等の実施)による支出は多かったものの、十分に計画を達成出来た。今後については、競技場の来場者やミュージアムの観覧者増を図るべく、リニューアルしたミュージアムを有効活用した展示会やイベント等を積極的に行い、施設全体のPR活動を強化していく。また、経費の削減についても引き続き注力し、安定した運営を目指す。

A	B	C	D
ミュージアムの休館により利用料金収入が減少したが、全体では計画を上回り、安定した運営がなされていると評価できる。今後については、利用増による収入確保を図るとともに、経費削減による支出減に努めるよう期待する。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応 各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。	適	不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>オリンピックを1年後に控えた今年度は、ジャンプ練習の無料開放やナイター練習等可能な限りジャンプ台の使用に対応できる体制を敷き、競技団体等から高い評価を受けた。また、約4カ月半に亘るミュージアムのリニューアル工事による休館があった為、大倉山ジャンプ競技場の来場者やミュージアムの来館者は前年度に及ばなかったものの、リニューアルオープン後は前年の実績を上回る来場者・入館者となったことから、より注目度のある施設になったと言える。</p> <p>自主事業としては、平成20年度より実施しているウィンタースポーツフェスタin大倉山をはじめ、サマースポーツフェスタin大倉山やサッポロシティジャズ協賛ライブ、スライダーエンジョイカップ等の大型イベントの他、山頂展望台スタート地点の開放やリニューアルに伴うミュージアム無料開放等数多く実施した。</p> <p>先述のように、ジャンプ競技以外にも新たな競技場の活用を実施し、大倉山の更なる魅力発信や施設のPRに努めた。</p>	<p>ミュージアムが オリンピックミュージアムとしてリニューアルしたことから、今まで以上にPRを行い、大倉山観光施設への来場促進に繋げていきたい。具体的には、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、平成29年度は市内約30校の小学生をミュージアム招き、ウィンタースポーツシアターにてオリンピックやパラリンピアンによる講演を行う他に、オリンピックイヤーである平成29年度は、加盟したオリンピックミュージアムネットワークと協力し、平昌オリンピックに向けた展示やイベントを行う予定を立てている。</p> <p>施設の維持管理等においては、引き続き業務の効率化と見直しを行い、エネルギーの節減・経費削減を念頭に施設の管理運営を遂行していく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。</p> <p>ジャンプ競技場としての運営に関しては、NTC競技別強化拠点施設として積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。</p> <p>ミュージアムのリニューアルを契機とし、来場者の増加に繋げるなど、施設の魅力を伝えている。</p> <p>また、自主事業についても、「山頂展望台スタート地点の開放」や「カウントダウンイベント」など、昨年度に好評であったイベントを継続して開催し、年間を通して施設の魅力発信を図るなど、観光資源としての施設活用にも力を入れている。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」を念頭に施設の運営管理を行うとともに、本市を代表する観光施設として、更なる魅力PRに努めていただくよう期待する。</p>	<p>本年度において、特に改善指導・指示を必要とする事項はなかった。</p>